

## ■透析機器安全管理委員会

### 1. 2021年度の目標及び方針

- ・計画的な透析機器管理を実施し安全に治療を実施する。
- ・「慢性維持透析濾過加算」「透析液水質確保加算」を満たすよう透析液水質管理を実施する。
- ・2021年度は、透析センターが同年度に完成する新棟への移転となるため、移転に伴う準備をスムーズに進める。

### 2. 2020年度評価

新型コロナウイルス流行に伴い、会議開催の代わりとして、委員への「透析機器安全管理委員会報告書」の回覧確認を毎月1回（12回／年）実施した。内容は、「2020年度ET・生菌測定年間計画表」「2020年度透析装置保守点検年間計画表」「故障及び修理一覧表」に基づきエンドトキシン・生菌測定結果及び透析関連装置保守点検、修理の結果とした。水質管理は「2016年度版透析液水質基準」（透析医学会）を基準とし、原水（水道水）は鴨川市水道局が公表する水質検査結果を確認すると共に透析設備納入業者による水質分析検査を実施した（10/20）。透析用水に関しては、化学的汚染物管理としてISO13959のうち第1, 第2グループ（12項目）の測定を行った（10/20）。エンドトキシン・生菌の測定箇所は原水（水道水）、透析用水、透析配管末端、透析装置であり年間計画に基づき測定し、基準値内で在ることを確認した。透析装置の保守点検及び修理は、定期点検71台、修理61件であった。透析液供給装置、溶解装置の故障及び修理は1件、逆浸透水处理装置の故障及び修理は0件であった。また、経年劣化に伴い透析装置7台を更新した。（1/17）その他、透析液供給装置（DAB-40E）の消耗部品交換（3/21）を行った。

### 3. 委員会の年間活動内容と紹介

透析医療において、安全な機器管理かつ清浄な透析液を提供することは必須の条件となっている。2010年診療報酬改訂により透析液清浄化対策に関わる「透析機器安全管理委員会」の設置が求められ、透析センターに勤務する医師、看護師、臨床工学技士をメンバーとし透析治療の安全と品質管理の推進を目的に当委員会が設置された。2016年度からは更なる質の向上を図る為、新たに地域感染症疫学・予防センター所属の感染管理認定看護師を加え活動している。

#### 【委員構成】

委員長	久慈 弘士	（医師）
委員	小原 まみ子	（医師）
委員	鈴木 智	（医師）
委員	永井 三枝	（看護師）
委員	古谷 直子	（感染管理認定看護師）
委員	原 隆雄	（臨床工学技士）
委員	小杉 悟	（臨床工学技士）
委員 事務局	土屋 智一	（臨床工学技士）
透析液安全管理者	土屋 智一	（臨床工学技士）

透析液製造担当者	小杉 悟	(臨床工学技士)
品質管理者	久慈 弘士	(医師)
機器・設備管理担当者	土屋 智一	(臨床工学技士)

【2021 年度活動内容】

- ・委員会を毎月 1 回 (12 回/年) 開催する。
- ・「2021 年度 E T ・生菌測定年間計画表」「2021 年度透析装置保守点検年間計画表」に基づきエンドトキシン・生菌の測定、透析関連装置の保守点検を実施する。  
原水 (水道水) は鴨川市水道局が公表する水質検査結果で確認する。  
更に透析設備納入業者による水質検査を実施する。
- ・透析用水については 2016 年版透析液水質基準第 2 章化学的汚染基準に従い第 1、第 2 グループの 12 項目を実施する。(1 回/年)
- ・エンドトキシン・生菌測定箇所は原水 (水道水)、透析用水、透析配管末端、透析装置とし、測定頻度は原水 4 回/年 (6・9・12・3 月)、透析用水 12 回/年、透析配管末端 1 回/月、透析装置は毎月少なくとも 1 台以上、各装置を少なくとも年 1 回試験する。
- ・透析装置保守点検は 5~7 台/月 (1 年で全台)、その他故障に対しては修理対応する。
- ・経年劣化に伴う装置更新計画を立て順次推進する。

文責：土屋 智一